

「公共事業コスト構造改善プログラム」

【施策名：Ⅱ 計画・設計・施工の最適化 【1】計画・設計の見直し 施策9】

工法変更によるコスト縮減

工事名：平成22年度 新居海岸堤防補強工事

概要：従来工法見直しによるコスト縮減

効果

- ・ 既設堤防増打ちに際し、従来はコンクリート表面処理を人力にて行っていたが機械化による施工によりコスト縮減、工期短縮を実現
- ・ 工事費を5.1百万から2.2百万に縮減
(縮減額 2.9百万円 縮減率57%)

従来

人力による既設堤防表面処理
人力の場合工期もかかる(実日数88日/1780m²)



縮減

機械化による既設堤防表面処理
機械の場合工期短縮(実日数44日/1780m²)

